

第8回アジア太平洋デフスポーツ競技会（テニス）出場選手の強化合宿に 佐野村学先生がトレーナー帯同されました

8月15日、16日に広島市内にある広域公園テニスコートで行われた第8回アジア太平洋デフスポーツ競技会のテニス競技に出場する選手の強化合宿に佐野村学先生がトレーナーとして帯同されました。

10月3日から台湾で開催される同競技会には、男女それぞれ4名の代表選手が出場されます。今回の合宿は、大会1ヶ月半前となる最後の強化合宿ということで、2日間とても厳しい練習が行われました。トレーナースタッフとして帯同した佐野村学先生は、ウォーミングアップやクーリングダウン、テーピングや練習中に発生した身体の痛みなどへの対応、その他トレーニング指導などを行われました。また、今回の合宿では、アジア大会本番に向けた選手の日々のコンディションの把握を目的として、コンディショニングチェックシートを作成され、選手による記入が行われました。

2日間の強化合宿に帯同した佐野村学先生は、「アジア大会まで残り1ヶ月半となり、前回の合宿に比べてさらに厳しい練習が行われましたが、選手、スタッフ全員がチームの目標に向かって頑張っています。大会が近付いてきていることもあり、さらに緊張感のある中でのサポートとなりました。今回の合宿では、アジア大会を見据えたセルフコンディショニングチェックシートの作成とその記入が行えたことがとてもよかったと思います。今年度最後のチーム目標であるアジア大会が目の前に迫ってきましたが、トレーナースタッフとして最後まで精一杯サポートして行きたいと思います。」と話されました。



代表選手と今回の合宿に協力・参加された選手、チームスタッフ
(後列左端が佐野村学先生)

※facebook「日本ろう者テニス協会」のサイトからも合宿内容などについて閲覧することができます。
URL: <https://www.facebook.com/jdta.tennis?fref=ts>